

農業セミナー（畜産コース）開講式を開催しました

今年度、畜産業の担い手として就農した5年目までの方（以下 セミナー生）を対象に農業セミナー（畜産コース）の開講式を6月2日（月）にかながわ農業アカデミーの講義室で開催しました。出席者の内訳は、酪農3名、肉牛1名、養豚1名、採卵鶏2名で、合計7名でした。

最初に、畜産に関する知識の習得のため、全ての畜種に共通の課題である「輸入飼料に含まれるクロピラリド(除草剤)」について普及指導員が講義を行いました。畜産経営に必要な不可欠な内容であるため、セミナー生は熱心に講義に耳を傾けていました。

次に、畜産ブランド推進協議会幹事会ワーキンググループ（事務局：（一社）神奈川県畜産会）が作成した、生産者の意気込みや安全でおいしい畜産物生産のための取り組みを広く知ってもらうための生産現場のPR動画をスクリーンで上映したところ、皆真剣に視聴していました。

続いて、各自の技術や知識の習得状況を可視化するために、「農業セミナー巡回チェックシート」を作成しました。これは、飼養管理、経営技術、衛生管理、生活技術、ネットワークの各項目について、普及指導員の助言を受けながら、現在の状況を採点し1年後の目標数値を記録するものです。最後に、作成したチェックシートを用いて、自農場の紹介を兼ねて今後の方向性を発表してもらい、セミナー生同士の意見交換を行いました。

このようなセミナーは、仲間とのコミュニケーションやネットワークづくりを行う場としても有意義であり、農業者としての意識向上を促すために、今後とも開催していきます。

今年度の農業セミナーには、新たに3名のセミナー1年生が参加しました。経営のために必要な技術習得を目指すとともに、セミナーを通じて、仲間とのコミュニケーションやネットワークづくりを進め、農業者としての意識の向上も促すような支援を行っていきます。

令和7年度の農業セミナー生は、1年生が4名、2年生が2名、3年生が4名、5年生が4名です。



普及指導員による講義



チェックシートの作成



開講式に参加したセミナー生と普及指導員